

市政の執行状況

平成23年第2回市議会定例会が6月1日から6月20日まで開催され、市長が開会初日に前定例会以降の市政執行の概要について報告しました。その内容を「市民が育む 品格と活力のあるまち やしお」の実現を目指す、市基本構想の6本の柱に分類してお知らせします。

1 かいてき

新時代を支える 都市の形成

▼5月11日、市民生活における道路環境の向上のため、主要道路の路面清掃や街路樹管理の業務委託を5件発注。

▼5月30日、効果的な内水排除を図るため、市内の排水機場のポンプおよび機械設備の点検業務委託を2件発注。

▼つくばエクスプレスの平成22年度の1日の平均乗車人員は、八潮駅で1万4100人、つくばエクスプレス全体では28万2000人。

▼5月17日、平成25年度に予定される南部中央地区の換地処分に向けて、南部3地区の町名を策定する八潮南部地区町名策定支援業務委託を発注。

▼5月30日に大瀬古新田地区、5月31日に南部東地区および稲荷伊草第二地区の土地区画整理審議会を開催。

6万円となり、前年度と比較して2881万円の増加。

▼浄配水場の適正な機能維持を図るため、業務委託を7件、修繕を2件発注。

▼配水管布設替えおよび新設工事を10件、配水管工事に伴う舗装復旧工事を10件、設計および施工監理業務委託などを5件発注。

2 やすらぎ

心やすらぎ安全な 生活環境の形成

▼福島県の原子力発電所事故による放射線の影響について、5月31日から、市が測定した放射線量の測定値を市ホームページで公表。

▼6月2日、埼玉県が率先して放射線量を測定するよう、八潮市・草加市・越谷市・三郷市・吉川市・松伏町の5市1町の連名で、県へ要望。

▼4月25日、保護すべき希少野生動植物を特定し、多種多様な生物を保全する地区や方法などを検討するため、自然環境調査業務委託を発注。

病の予防注射を実施。

▼5月29日、「第22回ゴミゼロ運動」を実施。



ゴミゼロ運動

▼春の全国交通安全運動に合わせて、5月15日、草加市松原団地駅西口公園で出陣式を、16日には、八潮駅周辺で交通安全街頭指導を実施。

▼市営住宅の維持管理のため、給水ポンプ、市営住宅管理システムおよび消防設備などの保守点検を発注。

▼大原団地の空家1戸の入居者を募集、また、大原団地、中馬場住宅、宮田団地の植木手入れ委託を発注。

▼3月31日、国土交通省関東地方整備局長により、「中川河川敷地の包括占用」が許可。

期と比較して件数で22件増加。

▼救急出場件数は、1月から4月まで1191件で、その内交通事故によるものが179件増し、交通事故は6件減少。

▼5月22日、消防署で、平成23年度の新人消防団員8人に対し研修を実施。

3 ふれあい

明るく生きがいに みちた社会の形成

▼4月21日、八潮市民生委員推薦会を開催し、埼玉県に推薦する民生委員・児童委員の候補者3人を決定。

▼4月26日、第1回八潮市地域福祉計画推進委員会を開催。さらに、地域福祉計画の策定に向け、5月20日、24日、31日の3日間にわたり、地域福祉活動を担う方々を中心に、ワークショップの手法を用いたニーズ調査を実施。

▼4月1日、八潮市介護認定審査会全体会を開催。また、4月11日、第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、一般高齢者2000人、介護

認定者1562人に対し、アンケート調査票を発送。

▼4月1日、病児保育、緊急一時保育、宿泊を伴う保育が必要な児童を持つ、働くお母さんやお父さんを支援する「緊急サポートセンター」業務を委託方式で開始。

▼4月4日、8カ所の市立保育所での入所式を行い、599人の児童が入所。

▼4月1日から、「八潮市障がい者福祉施設やまびこ」で生活介護並びに就労継続支援B型を、「八潮市障がい者福祉施設わかさ」で生活介護を、「八潮市障がい者福祉施設虹の家」で就労継続支援B型の障がい福祉サービス事業をそれぞれ開始。

▼5月18日、第1回八潮市障害者程度区分審査会を開催。

▼妊婦の健康管理の充実を図るため、今年度から妊婦健康診査に、ヒトT細胞白血病ウイルス検査とクラミジア検査を追加。

▼4月から新たに、生後2カ月から5歳未満の乳幼児を対象としたヒブワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチンの個別接種を全額公費負担で実施。

▼5月26日、65歳以上で要介護状態になる恐れの高い2346人の二次予防事業の候補者に対し、医療機関で受けられる「生活機能評価検査」の受診券を発送。

2倍から3倍に変更し、融資枠を拡大。

▼3月10日から3月27日まで、中川やしおフラワーパークで、「第6回中川やしお花桃まつり」を開催。



中川やしお花桃まつり

▼5月24日、埼玉県が放射性物質の農産物への影響を調査するため、市内のコマツナを採取し、5月26日に公表。

▼3月23日、西袋地内地権者からの申請を受け、「八潮市街なかやすらぎ緑空間創出事業補助金」を交付し、リュウノヒゲや芝桜、ナデシコなどを植栽。

5 はぐくみ

明日の八潮を担う 人づくり環境の形成

▼5月13日、八幡小学校および中川小学校のプール塗装工事を発注。

▼5月14日、八潮メセナで、平成23年度やしお市民大学および大学院の入学式が行われ、市民大学の第9期生として21人、市民大学院の第5期生として5人が入学。

▼4月28日から5月8日まで、の間、古民家で、「節句人形展示」を、5月28日には、体験講座として「手作りはんこづくり」を開催。

6 すいしん

市民に開かれた計画的な 行政推進体制の形成

▼「自治基本条例」のパネルを作成し、5月10日、町会・自治会に全戸配布を依頼。



自治基本条例パンフレット

▼3月24日、平成23年度から27年度までを計画期間とする「第4次八潮市行政改革大綱」および大綱に基づく「実施計画」を策定。

▼5月20日、八潮メセナで、法律相談をはじめとする各種相談を総合的に行う「総合相談」を開催。

▼4月1日付けで、一般事務職18人、土木技師2人、建築技師2人、保育士3人、消防士6人の合計31人を新規採用。

問 企画経営課 ☎8805